



保健医療学部通信

学部長ごあいさつ

保健医療学部長 片寄 正樹

本年4月に本学理事・保健医療学部長に就任いたしました片寄正樹です。どうぞよろしくお願い申し上げます。2020年1月にCOVID-19が国内で報告されてからの2年数ヶ月で、社会システムそして様々な価値観の変容をもたらしました。本学においても感染予防の徹底とオンラインでの授業、そして臨床実習の学内演習への切り替えなど大きな変革と対応で教育を確保してきたところです。このような状況の中、社会に目を向けますと健康とQOL(生活の質)の回復と維持増進のための知と実践である保健医療学の果たすべき多様な役割が改めて大きくクローズアップされてきたことを感じます。コロナ禍、そして人生100年時代やSociety 5.0など、これからの社会に応じた人材育成という視点ももった教育の重要性を改めて認識し、本学部における教育環境の整備を進めております。



まだまだ予断を許す状況ではないもののこの4月からは対面をベースとした教育環境そして学生生活がスタートしています。もちろん状況を適切に把握しながらの運用となりますが、今後の感染状況や個別学生の状況に応じての対応も検討され、臨機応変に対面またはオンラインで受講できる教育環境の整備が進められています。

4月に執り行われました入学式では鈴木直道北海道知事の御臨席のもと2年ぶりに全ての新生者が一同に集まっての開催とすることができました。壇上からみる新生生の顔には、このような社会情勢の中でもこれからの保健医療に向き合う決意と希望を強く感じ取ることもできました。本学在学中の学びをより有益なものとするよう、本学教職員一同で今後も引き続き教育環境の整備に努めてまいります。保護者の皆様におかれましては、感染予防に引き続きご配慮の上ご自愛をいただき、本学へのご支援のほどお願いを申し上げます。

【令和4年度 学事予定】 (1~4学年)

4月 6日	~ 4月 7日	新生オリエンテーション
4月 14日		前期講義開始
6月 25日		大学記念日
7月 15日	~ 7月29日	前期定期試験 (4年生 看護)
8月 8日	~ 8月26日	夏季休業 (1・2・3年生)
8月 1日	~ 8月19日	'' (4年生 看護)
8月 8日	~ 9月 9日	'' (4年生 理学)
7月 25日	~ 8月 5日	'' (4年生 作業)
8月 29日	~ 9月16日	前期定期試験 (1・2年生)
8月 29日	~ 9月 9日	前期定期試験 (3年生 看護)
8月 29日	~ 9月16日	前期定期試験 (3年生 理学・作業)
9月 26日		後期講義開始
10月 13日	~ 10月15日	体育祭
12月 2日		文化芸術祭
12月 19日	~ 1月 3日	冬季休業
2月 15日	~ 3月 3日	後期定期試験 (1・2年生)
1月 23日	~ 1月27日	'' (3年生 理学)
2月 15日	~ 3月 3日	'' (3年生 作業)
3月 17日		卒業式



入学式



新生オリエンテーション

看護学科長 城丸 瑞恵



2022年3月18日(金)に卒業式が行われ、看護学科50名が卒業しました。今年度も全員が看護師国家試験に合格し、100%の合格率を連続させています。同様に保健師国家試験も全員が合格して本学の学生の頼もしさを実感すると共に、保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。

卒業生の内、39名は看護師、4名は保健師として社会人になり、また本学の公衆衛生看護学専攻・助産学専攻などに進学した卒業生も数名おりました。各自が本学の卒業生としての誇りを胸に、それぞれの道に希望を抱き進んでおります。

4月8日(金)には50名の新生を看護学科に迎えました。個々の表情は緊張しつつも期待に満ちあふれていました。新型コロナウイルス感染症の予防を徹底しながら数日間にわたる新生オリエンテーションにも積極的に参加し、学科内外の交流もできています。2年生以降も同様に感染予防を行い、対面での講義がスタートしています。2年生は疾病に関する理解や看護の方法について学ぶ専門基礎科目が増え、3年生は多様な領域の看護方法について学び、後期には本格的な実習が行われます。4年生は、引き続き専門科目を学習するとともに、「看護学研究」「看護技術総合演習」などがあり、これらの科目を通して既習の知識と技術を統合して4年間の総まとめを行います。これからも教職員一同、学生1人1人の個性や意欲を大事にしながら、豊かな人間性と高度な実践力の育成に向けて努力する所存です。保護者の皆様におかれましては、引き続きご支援よろしくお願い致します。

理学療法学科長 渡邊 耕太



理学療法学科には、今年度20名の新生が加わりました。先日、教員と学生との対面式を行い、自己紹介では高校時代の活動や大学生生活の抱負などを述べてもらいました。どの学生からも受験をくぐり抜け晴れて大学生となった喜びが感じられ、将来目指すべき理学療法士像まで語ってくれた方もありました。

昨年度まではコロナ禍の影響でWEBによる遠隔講義が多く、学生にはご不便もかけました。新年度からはすべての学年でほぼ対面での講義や演習がなされており、教員としても皆の顔を直接見ながらの講義に張り切っております。本学科の教育コンセプトは、理学療法士に必要な知力と感性に支えられた思考力と臨床力を育むと共に、時代推移に即応できる判断力と行動力を養成することです。このコンセプトを達成するために本学科の特徴である少人数制、3つの学科や医学部との共同活動、大学附属病院の隣接という環境をフルに活用していきます。新型コロナウイルス感染症の蔓延は、学生生活に大きな影響を与えてきました。しかし、同時に医療従事者に対するリスペクトやその重要性が再認識されております。これからも、道民の健康を支えるという意欲を持つ人材、そして我が国の理学療法学のリーダーとなる人材を育てていきます。保護者の皆様におかれましては、本学の活動に引き続きご理解とご支援をお願い申し上げます。

作業療法学科長 仙石 泰仁



新年度が始まり作業療法学科では20名の新生を迎え、2年ぶりに対面での入学式やガイダンスが行われました。また、4月11日からは学部共通科目である「保健医療総論」がそれぞれの学年ごとに実施され、久しぶりに大学全体が学生の元気な力に満ち溢れ華やいだ雰囲気の中で新年度を迎えることができました。しかし、COVID-19の終息の気配は見え、4月の後半になると感染した学生や濃厚接触となった学生が少なからず出てきており、より一層の感染対策や、インターネットを利用した新たな教育手段の中で、充実した大学生活を送れる方法を探りながら日々を過ごしています。

ノーベル賞を受賞した京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授はCOVID-19との戦いは短距離走ではなくマラソンと似ていると述べられています。つまり、マラソンのようにペース配分をしっかりと長期間の持続的な取り組みが必要という事を指摘されています。また、その過程では多くの情報から正しい情報を読み取り、感染予防、学修、自身のキャリアデザインなど様々な行動指針を適切に立てる必要があります。今の学生たちは教員や先輩だけでなく同級生との交流も限られており、自分の力で「情報収集と適切な意思決定のプロセス」を身につけていくことが求められていると考えています。

大学生は自立した社会人となるために様々な葛藤がある年頃でもあり、人間関係や進路などに悩みを抱えることも予想されます。教員は彼らがそれぞれの葛藤を乗り越え優れた作業療法士になれるよう、保護者の皆様と協力しながら支援をしていきたいと思っております。

2021年度 看護学教育評価の受審について

看護学科長 城丸瑞恵

本学看護学科は、一般財団法人日本看護学教育評価機構(以下JABNE)による評価を受け、2022年3月に「適合」と判定されました。JABNEは「日本の大学における看護学教育の質を保証するために、看護学教育プログラムの公正かつ適正な評価等を行い、教育研究活動の充実と向上を図る」ことを目的としています。この認証評価を受けることで、看護学教育プログラムに関して、一定水準を保つ大学であることが認められます。2022年3月末現在、国内の約290の看護系大学の中で「適合」認定を受けたのは、本学を含み10校であり、本学の教育内容が評価されたことに対して光栄に感じています。

この認証評価を受けるにあたって約2年間準備を行いました。これまでの教育内容について報告書にまとめ、また予定されていた実地調査がCOVID-19の影響のため、オンラインによる学内の案内、評価員との学生・教員面談に変更して対応しました。

このような取り組みの結果、以下の点で特に高い評価を得ました。①教育課程は看護職に必要な知識・技術・態度を修得するための編成となっている。②事前学習としてeラーニングを活用する等、主体的学習を促進している。③教育内容は学位授与方針、教育課程編成・実施方針に基づいて構築されており、各科目の到達目標が具体的に示されている。④学生の主体的学びを促進する常時使用可能な図書館、コンピュータ実習室、eラーニング教材などハード・ソフト両面の整備など教育効果を高めるための様々な措置が講じられている。また、教員の能力の確保においても、組織的な取り組みが行われていること、主たる実習施設である附属病院と人事交流を行い、臨地実習、学内演習などで臨床と教育のユニフィケーションを図っているなどが認められました。

以上のことから、「総じて、卓越した教育内容となっており、学生からも高い評価を得ていること、引き続き優れた取り組みを押し進め、看護学教育をさらに発展させていくことを期待する」との総評があり、教職員一同、今後も一層教育内容の充実に向けて努力していきたいと考えています。



(左から、堀口教授、城丸教授、今野教授)



日本看護学教育評価機構

看護学教育評価機構
「適合」の認定マーク

教務委員会～大学の理念に基づき教学環境を整える

教務委員会副委員長 正岡経子

教務委員会は、本学部の教育課程や試験、単位の認定・授与に関する事項を審議する組織で、看護学科、理学療法学科、作業療法学科、医療人育成センター所属の教員11名で構成されています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中、教育体制の変更を余儀なくされ、万全な感染対策と学習機会の確保に試行錯誤の年でした。そして、令和4年度が始動しました。ウィズコロナ社会の中で、学生の人間性を育む大学生活の充実と医療人としての「リアル」を学ぶ場をどのように整え、看護師、理学療法士、作業療法士のやりがいと大変さを学生に伝えるのか、我々教員に問われ、また試されているように思います。この写真はある日の教務委員会の様子です。多様で持続可能な教育の実現に向けて、意見を出し、語り合うことを大切に、結論を導き出しています。学生の目がコロナ禍のその先の未来を見つめているように、私たち教員もこれからの教育の在り方を考え続けていきたいと思っています。



し、語り合うことを大切に、結論を導き出しています。学生の目がコロナ禍のその先の未来を見つめているように、私たち教員もこれからの教育の在り方を考え続けていきたいと思っています。

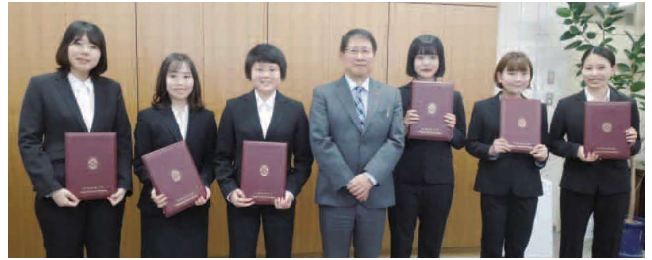
保健医療学部学生表彰

保健医療学部では、毎年度、本学部を卒業する学生と進級制限が設けられている2年生を対象に、学業成績および人物が優秀で他の範となる学生を最優秀者、優秀者として表彰する制度を設けています。

令和3年度2学年においては以下の学生が表彰されました。

☆山岸 結（看護学科・最優秀賞）

この度は看護学科の最優秀賞をいただき大変光栄に思います。コロナ禍で授業や実習の形態が従来とは異なり不安や焦りもありましたが、熱心に指導して下さった先生方や共に励んできた仲間、家族の支えのおかげで頑張ることができました。今後もこのような環境で学習ができることに感謝し、目標に向かってより一層努力していきたいと思えます。



☆阿知良 朱帆（看護学科・優秀賞）

この度は、看護学科優秀賞という大変名誉な賞を受賞させていただき、とても嬉しく思います。努力も勉強も苦しい私がこのような賞を受賞させて頂けたのは、見守ってくれた家族、共に励まし合い、高め合った仲間、熱心に指導して下さった先生方をはじめとする、私を支えてくれた人たちの存在が有ったものだと感じております。これから、私を支えてくれた人たちへ恩返しができるよう、また、この賞に恥じない人になれるよう、より一層努力し、学習に励んでいきたいと思えます。

☆高橋 優実（理学療法学科・最優秀賞）

この度は、最優秀賞をいただきありがとうございます。この2年間は、一緒に勉強をしてくれる仲間や真摯に向き合ってく下さる先生方、応援してくれる家族など多くの方々にサポートしていただきました。心から感謝しています。今後は、勉強面でも人としても成長できるよう周囲への感謝や初心を忘れず、毎日の積み重ねを大切に、努力していきます。

☆久貝 小雪（理学療法学科・優秀賞）

この度、優秀賞を頂き大変嬉しく思います。新型コロナウイルス感染症の影響で、制限の多い2年間でした。そんな中でも、このような賞を頂いたのは、熱心に指導して下さった先生方や一緒に勉強をしようとして声をかけてくれた友人、いつも近くで支えてくれている家族のおかげです。心から感謝申し上げます。今後も気を抜くことなく日々努力を重ね、精進して参ります。

☆尾田 優月（作業療法学科・最優秀賞）

この度は、このような賞をいただき、大変光栄に思います。私が最優秀賞をいただくことができたのは、丁寧にご指導して下さった先生方、一緒に勉強を頑張った同期、支えてくれた家族のおかげだと思っています。これからもこの賞に恥じぬように、日々の感謝の気持ちを忘れずに勉学に励んでいきたいと思えます。

☆吉田 智恵（作業療法学科・優秀賞）

この度は作業療法学科での優秀賞を頂き、大変嬉しく思います。オンラインで講義を受けることも多かった中、同期や先輩方、先生方の支えのおかげで、課題や実習、テストに励むことができました。残りの2年間も努力を惜しまず頑張っていきたいと思えます。

令和3年度卒業生の国家試験合格状況

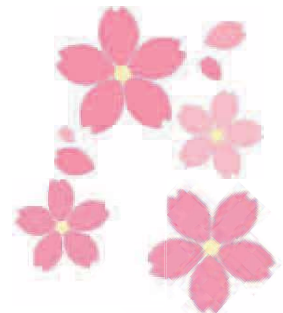
- 看護師国家試験は50名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）

看護師国家試験 **19年連続** 合格率100%を達成しました！！

- 保健師国家試験は23名*が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）
（*専攻科公衆衛生看護学専攻13名を含む。）

- 理学療法士国家試験は20名が受験し、全員が合格しました。（合格率100%）

- 作業療法士国家試験は21名が受験し、20名が合格しました。（合格率95.2%）



※合格率（全国平均）

- 看護師国家試験… 91.3%
- 理学療法士国家試験… 79.6%
- 保健師国家試験… 89.3%
- 作業療法士国家試験… 80.5%